

社会資本総合整備計画（防災・安全交付金）

令和元年12月10日

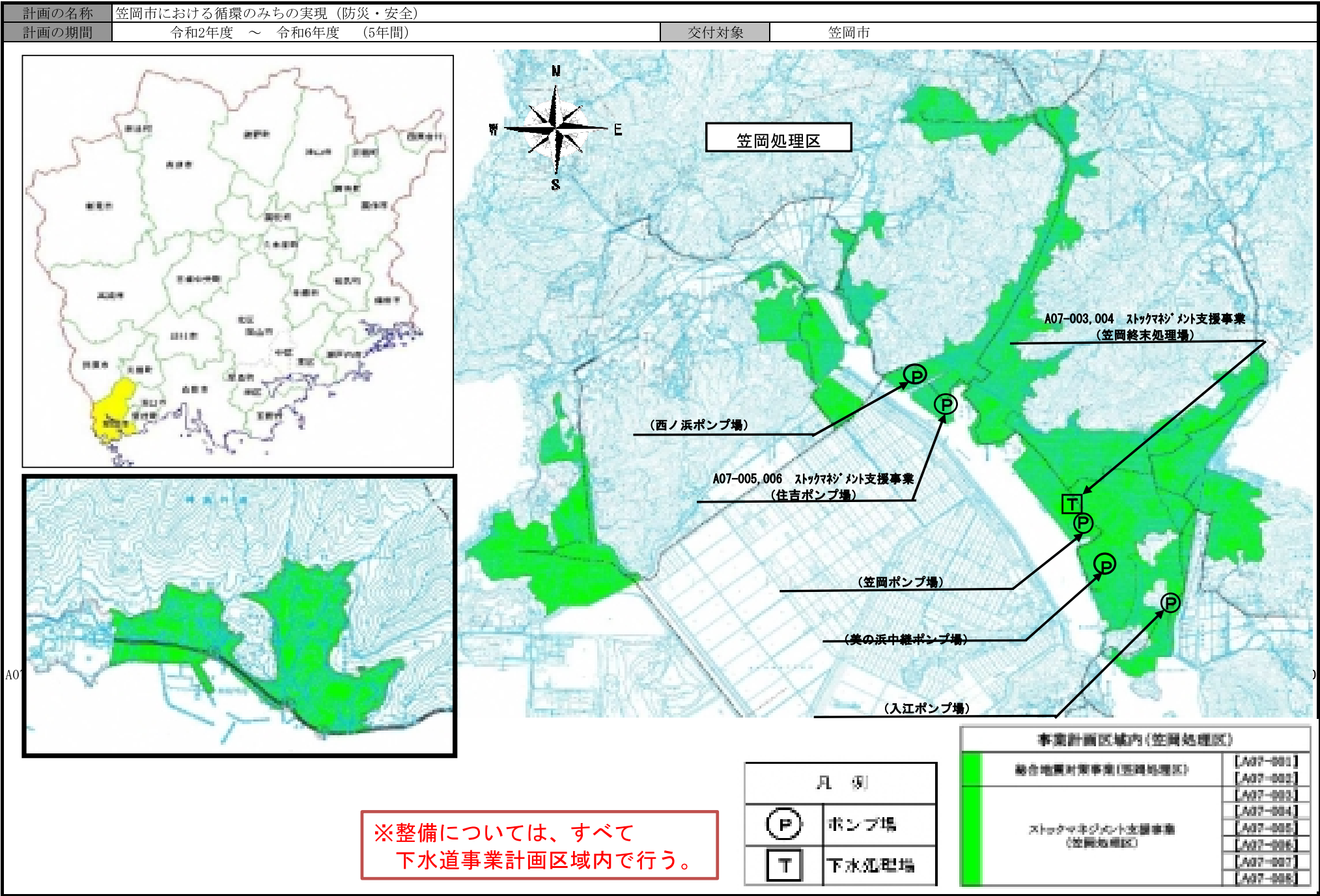
計画の名称	笠岡市における循環のみの実現(防災・安全)										重点配分対象の該当										
計画の期間	令和2年度 ～ 令和6年度（5年間）					交付対象		笠岡市													
計画の目標	南海トラフ地震に備え、下水道管渠（重要な幹線等）の耐震化を図るとともに、長寿命化対策の実施により老朽化施設の健全化を図ることで安全・安心な生活を創造する。																				
計画の成果目標（定量的指標）																					
①耐震化を実施していない特に重要な幹線等における総合地震対策実施率を 6 %（R2）から 25%（R6）へ増加させる。 ②ストックマネジメント計画に係る処理場・ポンプ場施設の長寿命化対策実施率を 16 %（R2）から33%（R6）へ増加させる。 ③最重要施設（管渠等）における施設調査実施率を 0 %（R2）から 14%（R6）へ増加させる。																					
定量的指標の定義及び算定式																					
①特に重要な幹線等における総合地震対策実施率 総合地震対策完了済み特に重要な幹線管渠等延長（km）／総合地震対策を実施する特に重要な幹線管渠等延長（km） ②ストックマネジメント計画に係る処理場・ポンプ場施設の長寿命化対策実施率 長寿命化対策実施済みとなる施設数（箇所）／長寿命化対策の対象となる施設数（箇所） ③最重要施設（管渠等）における施設調査実施率 施設調査を実施した最重要施設（管渠等）延長（km）／最重要施設（管渠等）延長（km）										定量的指標の現況値及び目標値											
										当初現況値		中間目標値			最終目標値						
										(R2当初)		(R4末)			(R6末)						
										6%		17%			25%						
										0%		16%			33%						
0%		4%	14%																		
全体事業費		合計 (A+B+C+D)		2,660	A	2,650	B	0	C	10	D	0	効果促進事業費の割合 C／（A+B+C+D）		0.4%						
交付対象事業																					
A 基幹事業																					
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考		
A07-001	下水道	一般	笠岡市	直接	－	管渠（汚水）	改築	総合地震対策事業（笠岡処理区）	管更生・マンホール浮上防止対策 1式	笠岡市	R2	R3	R4	R5	R6	700		策定済	総合地震		
A07-002	下水道	一般	笠岡市	直接	－	管渠（汚水）	改築	総合地震対策事業（笠岡処理区）	調査・設計等	笠岡市						100		策定済	総合地震		
A07-003	下水道	一般	笠岡市	直接	－	終末処理場	改築	ストックマネジメント支援事業（笠岡処理区）	笠岡終末処理場（脱水機・受電設備等）改築・更新	笠岡市						800		策定中	ストックマネジメント計画		
A07-004	下水道	一般	笠岡市	直接	－	終末処理場	改築	ストックマネジメント支援事業（笠岡処理区）	調査・設計等（笠岡終末処理場）	笠岡市						200		策定中	ストックマネジメント計画		
A07-005	下水道	一般	笠岡市	直接	－	ポンプ場	改築	ストックマネジメント支援事業（笠岡処理区）	住吉ポンプ場（自動除塵機・水中ポンプ等）改築・更新	笠岡市						500		策定中	ストックマネジメント計画		
A07-006	下水道	一般	笠岡市	直接	－	ポンプ場	改築	ストックマネジメント支援事業（笠岡処理区）	調査・設計等（住吉ポンプ場）	笠岡市						200		策定中	ストックマネジメント計画		
A07-007	下水道	一般	笠岡市	直接	－	管渠（汚水）	改築	ストックマネジメント支援事業（笠岡処理区）	管渠調査・点検 L=3.0km	笠岡市						50		策定中	ストックマネジメント計画		
A07-008	下水道	一般	笠岡市	直接	－	－	改築	ストックマネジメント支援事業	ストックマネジメント計画改訂	笠岡市						100		策定中	ストックマネジメント計画		
											合計					2,650					
B 関連社会資本整備事業（該当なし）																					
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名			事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考		
											R2	R3	R4	R5	R6	合計		0			
C 効果促進事業																					
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名			事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考				
C07-001	下水道	一般	笠岡市	直接	笠岡市	下水道地震対策事業（マンホール浮上設備）			2避難所， 20基	笠岡市	R2	R3	R4	R5	R6	10					
											合計										
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考					
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																					
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)			事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考				
											R2	R3	R4	R5	R6	合計					
合計																					
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考					
C07-001	基幹事業と一体的に実施し、地震時に下水道施設が被災した場合においても避難所でのトイレ機能を確保することができ、公衆衛生の向上に寄与することができる。																				

交付金の執行状況(防災・安全)

(単位:百万円)

	R2	R3	R4	R5	R6
配分額 (a)	60.2	182	166.5	131	
計画別流用 増△減額 (b)	0	0	0	0	
交付金額 (c=a+b)	60.2	182	166.5	131	
前年度からの繰越額 (d)	0	0	55	7.5	
支払済額 (e)	60.2	127	214	91.11	
翌年度繰越額 (f)	0	55	7.5	47.39	
うち未契約繰越額 (g)	0	0	0	0	
不用額 (h=c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越額+不用率 (h=(g+h)/(c+d))	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由					

(参考図面) 社会資本総合整備計画 (防災・安全交付金)



社会資本整備総合交付金チェックシート

(下 水 道 事 業)

計画の名称: 笠岡市における循環のみちの実現(防災・安全)

事業主体名: 笠岡市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①個別処理との経済比較に関する上位計画等との適合	
1)都道府県構想(クリーンライフ100構想)に適合している。	○
2)これまで行ってきた、「下水道事業の整備効果向上を図るための事業の再点検(4つの点検)」の実施結果を反映している。	○
②地域の課題への対応	
1)地域の課題を踏まえて下水道整備の目標が設定されている。	○
2)下水道整備の必要性という観点から地区の位置づけが高い。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3)目標及び事業内容と下水道事業認可区域との整合性が確保されている。	○
4)指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
5)事業効果をより高めるため、ハード事業とソフト事業を効果的に組み合わせる等の工夫がなされている。	—
④事業の効果	
1)十分な事業効果が確認されている。	○
2)他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	—
III. 計画の実現可能性	
⑤円滑な事業執行の環境	
1)計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2)計画および実施に関し、住民等に対する事前説明が行われている。	○
3)計画および実施に関し、住民等との間で合意が形成されている。	○

(○は適、×は不適、—は該当なし)

計画の名称	笠岡市における循環のみの実現（防災・安全）													
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）											重点配分対象の該当		
交付対象	笠岡市													
計画の目標	南海トラフ地震に備え、下水道管渠（重要な幹線等）の耐震化を図るとともに、長寿命化対策の実施により老朽化施設の健全化を図ることで安全・安心な生活を創造する。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		2,660	A	2,650	B	0	C	10	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0.37	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(R2当初)	(R4末)	(R6末)
1	①耐震化を実施していない特に重要な幹線等における総合地震対策実施率を6％（R2）から25％（R6）へ増加させる。			
	①特に重要な幹線等における総合地震対策実施率	6%	17%	25%
	総合地震対策完了済み特に重要な幹線管渠等延長（km）／総合地震対策を実施する特に重要な幹線管渠等延長（km）			
2	②ストックマネジメント計画に係る処理場・ポンプ場施設の長寿命化対策実施率を16％（R2）から33％（R6）へ増加させる。			
	②ストックマネジメント計画に係る処理場・ポンプ場施設の長寿命化対策実施率	0%	16%	33%
	長寿命化対策実施済みとなる施設数（箇所）／長寿命化対策の対象となる施設数（箇所）			
3	③最重要施設（管渠等）における施設調査実施率を0％（R2）から14％（R6）へ増加させる。			
	③最重要施設（管渠等）における施設調査実施率	0%	4%	14%
	施設調査を実施した最重要施設（管渠等）延長（km）／最重要施設（管渠等）延長（km）			

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－	避難確保計画の策定		避難行動要支援者名簿の提供	

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	笠岡市	直接	-	管渠（ 污水）	改築	総合地震対策事業（笠岡 処理区）	管更生・マンホール浮上防止 対策 1 式	笠岡市	■	■	■	■	■	700		策定済
		総合地震																	
	A07-002	下水道	一般	笠岡市	直接	-	管渠（ 污水）	改築	総合地震対策事業（笠岡 処理区）	調査・設計等	笠岡市	■	■	■	■	■	100		策定済
		総合地震																	
	A07-003	下水道	一般	笠岡市	直接	-	終末処 理場	改築	ストックマネジメント支 援事業（笠岡処理区）	笠岡終末処理場（脱水機・受 変電設備等）改築・更新	笠岡市		■	■	■	■	800		策定中
		ストックマネジメント計画																	
	A07-004	下水道	一般	笠岡市	直接	-	終末処 理場	改築	ストックマネジメント支 援事業（笠岡処理区）	調査・設計等（笠岡終末処理 場）	笠岡市	■	■	■	■	■	200		策定中
		ストックマネジメント計画																	
	A07-005	下水道	一般	笠岡市	直接	-	ポンプ 場	改築	ストックマネジメント支 援事業（笠岡処理区）	住吉ポンプ場（自動除塵機・ 水中ポンプ等）改築・更新	笠岡市		■	■	■	■	500		策定中
		ストックマネジメント計画																	
	A07-006	下水道	一般	笠岡市	直接	-	ポンプ 場	改築	ストックマネジメント支 援事業（笠岡処理区）	調査・設計等（住吉ポンプ場 ）	笠岡市	■	■	■	■	■	200		策定中
		ストックマネジメント計画																	

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-007	下水道	一般	笠岡市	直接	-	管渠（ 汚水）	改築	ストックマネジメント支 援事業（笠岡処理区）	管渠調査・点検 L＝3.0km	笠岡市		■	■	■	■	50		策定中
		ストックマネジメント計画																	
	A07-008	下水道	一般	笠岡市	直接	-	－	改築	ストックマネジメント支 援事業	ストックマネジメント計画改 訂	笠岡市				■	■	100		策定中
		ストックマネジメント計画																	
											小計						2,650		
											合計						2,650		

C 効果促進事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	C07-001	下水道	一般	笠岡市	直接	笠岡市	－	－	下水道地震対策事業（マンホールトイレ上部設備）	2 避難所， 2 0 基	笠岡市		■	■	■	■	10		－	
		基幹事業と一体的に実施し，地震時に下水道施設が被災した場合においても避難所でのトイレ機能を確保することができ，公衆衛生の向上に寄与することができる。																		
												小計						10		
											合計						10			

中 間 評 価	
○中間評価の実施体制、実施時期	
中間評価の実施体制	中間評価の実施時期
笠岡市上下水道部下水道課において実施	令和5年3月末
	公表の方法
	笠岡市ホームページで公表する
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	南海トラフ地震に備え、下水道管渠（重要な幹線等）の耐震化を図るとともに、長寿命化対策の実施により老朽化施設の健全化を図ることで安全・安心な生活を実現した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	17		
	中 間 目標値	17%	事業内での予算の流用を行い、事業の促進を図った結果、対策化率の向上が図れた。
	中 間 実績値	44%	
2	16		
	中 間 目標値	16%	
	中 間 実績値	16%	
3	4		
	中 間 目標値	4%	
	中 間 実績値	4%	